

**製品名: HSP90 $\beta$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12263**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000,IP 1:20-1:50
分子量	90kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HSP90AB1
別名	HSP90AB1; HSP90B; HSPC2; HSPCB; Heat shock protein HSP 90-beta; HSP 90; Heat shock 84 kDa; HSP 84; HSP84
遺伝子 ID	3326.0
SwissProt ID	P08238
免疫原	抗血清はヒト HSP90B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 226-275

**背景**

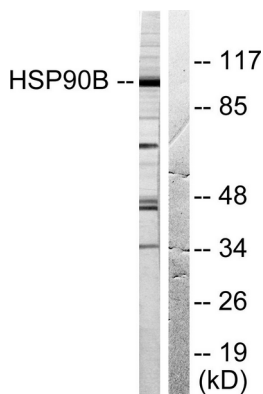
この遺伝子は、熱ショックタンパク質 90 ファミリーのメンバーをコードします。これらのタンパク質は、シグナル伝達、タンパク質

の折り畳みと分解、そして形態進化に関与しています。この遺伝子は、細胞質 90 kDa の熱ショックタンパク質の恒常型をコードし、胃のアポトーシスと炎症に関与していると考えられています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。偽遺伝子は複数の染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2012 年 12 月],機能: 分子シャペロン。ATPase 活性を有する。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による)。類似性: 熱ショックタンパク質 90 ファミリーに属する。細胞内局在: ステージ I からステージ IV までのメラノソーム分画において、質量分析法によって同定された。サブユニット: ホモ二量体。TP53/p53 と相互作用する (類似性による)。UNC45A と相互作用する。UNC45A への結合には、HSP90AB1 二量体あたり 2 つの UNC45A モノマーが関与する。

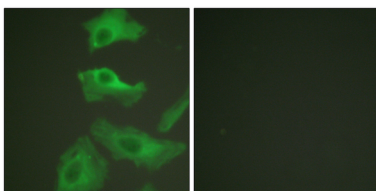
## 研究分野

PI3K/Akt; タンパク質アセチル化

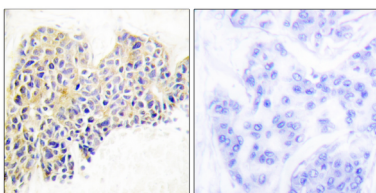
## 画像データ



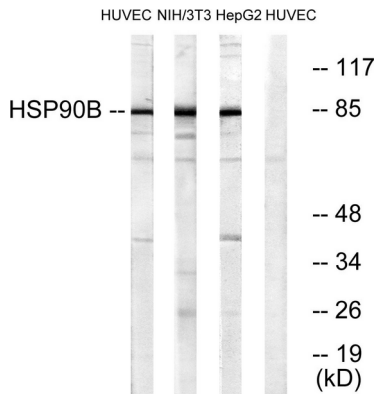
HSP90B 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは HSP90B ペプチドでブロッキングされている。



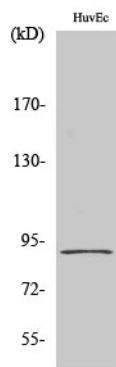
HSP90B 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



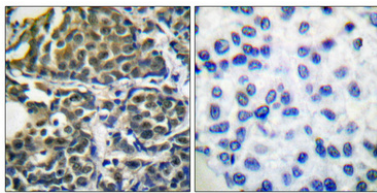
HSP90B 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



HUVEC/NIH/3T3/HepG2 のライセートを HSP90B 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



HSP90β ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。